

参加者 学校運営協議会委員
中川賢一 黒須智子 青木信行 有野一良
伊澤淑子 渡辺正巳 設樂孝男（校長）
オブザーバー 地域学校協働活動推進員（橋本俊明）
事務局 教頭・教務・事務長

欠席者 学校運営協議会委員（大古理恵子・小林亜友子・平石秀邦）

※敬称略

1 日 時 令和6年2月1日（木）

14:00～15:30

2 内容

（1）学校評価の結果の概要説明

教頭より

学校評価の項目を石橋中学校区で統一した。1～20の項目は共通の項目で、21以降は学校独自の項目になっている。また、21「自分にはよいところがある」は児童と教職員のみ項目を設定し、保護者からの回答は設定していない。1～20の項目は児童、保護者、教職員の三者からとっている。22「家でテレビやゲームなどの時間を決め、守っている」は教職員の自己点検にもなっている。水色で表示されている項目は「徳」に関する項目。1「学校が楽しい」の結果は三者ともまあ良かった。2「授業はわかりやすい」3「授業に意欲的に取り組んでいる」4「友達と協力して学習し、自分の考えに生かしている」は三者とも8割くらいが肯定的に捉えている。一方、5「家庭で進んで学習している」は児童・教職員と保護者で開きが出てしまった。保護者はもっと学習してほしいと思っている。6「よく読書をしている」は保護者の肯定的回答が一番低い。特に、家では児童は本を読んでいないのかも。7「約束や決まりを守って生活している」は保護者・教職員の回答は低めである。これは育てていきたいところ。9「行事に一生懸命取り組んでいる」は三者とも高い評価になっている。行事に参加することによって達成感が得られていると考えられる。11「元気にあいさつできる」は児童と保護者・教職員で開き大きい。教職員は、昇降口ではよくあいさつができていますが、廊下等ですれ違うときはあいさつしない児童がいると考えている。日常的なあいさつが課題。12「係や委員会や清掃などに責任をもって活動している」は、まあまあ頑張っているという結果だった。13「体育の時間や休み時間に進んで運動している」では、教職員も休み時間に校庭に出て児童と一緒に遊んでいるときがある。14「マナーを守って給食を食べている」は保護者の肯定的回答が非常に低い箸の持ち方や食べているときの姿勢、食べ方の面で課題がある。15「安全を意識して生活している」の安全面では、要望を対処していただいて解消している。インターネットの使い方の面では課題が山積している。16「清潔を心がけている」では、先日学校保健給食委員会の際に学校薬剤師から、最近世の中で、消毒がおろそかになっているとの指摘があった。17「他の学年や他の学校との学習活動は楽しい」は、保護者の肯定的回答が低かった。18「学校からのお知らせを家の人に渡したり伝えたりしている」は、文書を連絡システムアプリ「すぐーる」で受け取ることを市の方で始めた。21「自分にはよいところがある」は、教職員は肯定的回答が高いが、児童は低かった。自己肯定感を上げていくことが課題。

学校評価の結果は以上だが、「読書指導の工夫」についてご意見を伺いたい。

(2) 意見交換・協議（今年度の総括・次年度に向けて）

※事前に学校評価結果を渡し、論点を絞って意見を記載してもらったプリントを資料として配付。

(校長) 図書室へまめに行くといいと思うが、休み時間には外に出て遊んでいる児童が多いので、じっくり本を読む時間を確保するのは難しい。決して本が嫌いなわけではないと思う。が、本よりもっとわかりやすいものに流れている気もする。ご意見があったように、保護者に推薦図書を選んでもらうのもよいと思う。

(教頭) 以前の勤務校では「家読リレー」をしていた。図書袋の中に本と感想を書く紙を入れて、親子で読んで感想を書き、次の人に回すというもの。

(教員) 前任校では読み途中のページに、自分の名前を書いた付箋を貼って学級の本棚に戻し、続きを読めるようにしていた。また、図書係が朝の読み聞かせをしていた学級もあった。係活動を通して読書を広めることもできる。

(教頭) 「約束や決まりを守って生活するよう育む指導の工夫」については如何か。できているときにも、できているねと言ってあげることが必要だと思う。

(委員A) 子供はできているときには褒めてほしいと思っているのでは。

(教頭) 守れたときに認めてやり、守れなかったときは反省させることが大切。

(委員B) この項目の肯定的回答は、保護者は教職員と同じ数値で、児童は高い。児童は約束を守れていると思っているので、注意されても何を言われているのかわからない部分があるのでは。

(教頭) 〈体〉の方で、「マナーを守って食事をするなど、食育に関する指導の工夫」は如何か。箸の持ち方がちがう、器を持たないで食べる、肘をついて食べる、食べるときに口をとじない等指導している。

(委員A) 本校の給食の献立表がいいなと思っている。給食週間の話などが載っている。

(委員B) Aさんが農業体験をさせている。食べ物と作った人との関係を目に見える形にしていくと食べる物に対してのマナーも指導できるのでは。

(委員A) 畑で作った物は農協の直売場に置いている。

(委員B) 地元で作られた食べ物だと知らせていいのでは。

(教頭) 2年生が町たんけんで体験させていただいた。

(委員C) 今後、給食は一人で前を向いて食べる形は解消するのか。くちゃくちゃ音を立る食べ方は恥ずかしいことだとお互いに話題にするといいのでは。

(校長) 給食での会食形式は、今のところやらない方向。話をしないと食べることに集中する。しかし、教師も指導をしないので、コロナの時は、食べているときに指導があまりできなかった。

(委員C) 家庭の力も大きい。

(委員A) 家で同じ食べ方をしているので無理なのは。

(教頭) 〈その他〉で「自己肯定感、自己有用感を高める指導の工夫」については。

(委員B) 最近の子供達は自己肯定感が低いと新聞に出ていた。いろんな意味で比較されている。悪いことばかりを指摘されているのでは。下野市の児童表彰はいいと思う。

(委員C) 孫は褒めるけど自分の子は褒めなかった。今の親は褒めるのが上手。

(委員B) 親自身も必死なところもあるけど、親に褒めてもらおうと子供もうれしい。孫は褒めやすい。

(教頭) 朝の支度など、〇〇さん早いねと褒めると、みんなも早くやる。
その他、気付いたことは。

(委員A) 孫たちの世代に、ジェンダー平等の世の中になるといい。教育の指針はあるのか。

(教頭) 今年度の運動会の応援団長は女子二人だった。

(校長) 小学校は高学年まであまり性差を意識しない。その時に自然な形で教育していくとよいと思う。中学校は制服も変わってきている。

(委員C) 北陸地震など、ニュースを見ているのか。学校に行けるのは普通ではないなどの話をしてほしい。親もニュースを見ない。新聞もとらない。世の中の出来事を常に感じる危機感をもってほしい。好きなことばかりしているのは危険。危機感がある。ネットだと、好きなニュースばかり見ている。

(教頭) 皆さんから出た意見を職員とも共有して生かして、来年につなげていきたいと思う。

(推進員) 今年度は地域住民へ知らせていく一環として、古山小学校の校長が作成した中学校区の組織の掲示物を、地域の人に見てもらおうと石橋公民館に掲示してある。今年度は広報活動を実践することができた。小中交流クリーン活動は、なかなか中学生が現れなくて、古山小しか取材ができなかった。地域住民も一部参加してくださったとのこと。

石橋公民館の地域学校協働活動の紹介。①ママナビ：毎年企画している。②庭園管理実践講座：樹木剪定をした。③児童の作品展：かんぴょう・ふくべの作品展をした。来年以降も住民のみなさんに見ていただく企画をする予定。

(委員長) 学校評価の結果の中には、これは家庭教育なのではというものがあつた。箸の持ち方などや学習面でもすべて学校で指導するのは難しい。読書については、親が読んでいないのでは子供も読まないのでは。週に一回読書の日として、みんなで読書するのはどうか。

〇〇さんのお父さんが推薦している本ですなど、名前を出せるのであれば、アピールするのはどうか。

一年間ありがとうございました。

(校長) すぐできるものはやっていきたい。一年間お世話になりました。

(3) 次年度委員の選出

3 事務連絡

3月15日（金）卒業式9：25開始（受付9：00～9：10）

※今年度の卒業式は3年生から参加。今のメンバーで出席を。

4月10日（水）入学式9：25開始（受付9：00～9：10）

※新しい委員に案内を差し上げることになる。

閉会